令和８年千葉市教育委員会会議
第２回臨時会会議録

千葉市教育委員会

令和８年千葉市教育委員会会議第２回臨時会会議録

日時　令和８年７月３１日（金）
午後２時００分開会
午後２時５３分閉会
場所　教育委員会室

出席委員	教育長	鶴岡　克彦	
	委員	小西　朱見	
	委員	大山　尋美	
	委員	大濱　洋一	
	委員	杉山　浩	
	委員	磯邉　聡	

出席職員	教育次長	中島　千恵	稲毛国際中等教育学校長	大野　大輔
	教育総務部長	西　公厚	総務課長補佐	金井　拓也
	学校教育部長	川名　正雄	教育指導課統括指導主事	栗田　智晃
	総務課長	鴇田　昌奈	教育指導課主任指導主事	須藤　渉
	教育職員課長	久保　哲	教育改革推進課主任指導主事	牧　伸裕
	教育指導課長	川島　政美	教育支援課主任指導主事	田邊　寿晃
	千葉高等学校長	藤井　大	教育支援課指導主事	中村　智子

書記	総務課総務班主査	中台陽一郎	総務課主任主事	小川　和也

1　開会
教育長より開会を宣言

2　会議の成立
全員の委員の出席により会議成立

3　会議録署名人の指名
鶴岡教育長より大山委員を指名

4　会期の決定
令和８年７月３１日（１日間）とすることで全委員異議なく決定

5　議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定

6　議事の概要

(1) 報告事項
報　告　事　項　令和７年度（令和８年度集計）体罰及びセクシュアル・ハラスメント等に関する実態調査の結果について

久保教育職員課長より報告があった。

(2) 議決事項
議案第３７号　令和９年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について

藤井千葉高等学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第３８号　令和９年度使用千葉市立稲毛国際中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について

大野稲毛国際中等教育学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第３９号　令和９年度使用学校教育法附則第９条第１項の規定による教科用図書の採択について

中島教育次長及び川島教育指導課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(3)　発言の要旨
報　告　事　項　令和７年度（令和８年度集計）体罰及びセクシュアル・ハラスメント等に関する実態調査の結果について

鶴岡教育長　報告事項「令和７年度（令和８年度集計）体罰及びセクシュアル・ハラスメント等に関する実態調査の結果について」、

教育職員課長、説明をお願いします。

久保教育職員課長　令和７年度（令和８年度集計）体罰及びセクシュアル・ハラスメント等に関する実態調査の結果について、公表方法及び今後の調査方法を見直すこととしましたので、その概要について、ご説明します。

まず、「１　調査の目的」ですが、児童生徒と教職員の関わりの中で起こる体罰やセクシュアル･ハラスメント等に関する実態を把握するとともに、具体的な対策を講じ、よりよい学校環境をつくるために実施するものです。

「２　調査方法等」ですが、調査対象者は、市立の小・中・中等教育･特別支援･高等学校に在籍する児童生徒及び教職員です。

なお、小学校・特別支援学校は保護者も含みます。

調査対象期間は令和７年４月１日から令和８年２月２０日までとしました。実施方法はアンケート調査とし、氏名は無記名での記入も可としております。

また、モデル校９校において、オンライン申請による回答を実施しました。回収方法等ですが、回答にあたっては、昨年度と同様、自宅で回答し提出していただくこととしました。

これは、学校では周囲の目を気にして、本来書きたい内容を書けない児童生徒へ配慮したためです。

回収については、管理職が各教室を周って回収し、担任は一切回収には関わらないようにしています。さらに、学校に直接提出することに不安に感じる児童生徒や保護者のため、教育委員会へ郵送による提出も可能としています。

また、アンケート調査による体罰やセクシュアル・ハラスメント等の「受けた」「見た」の申告に対して、学校と教育委員会が連携して事実確認を行ったうえで、体罰やセクシュアル・ハラスメント等に該当するか判断しています。

「３　調査・公表の見直し」についてですが、従来の公表方法は、学校と教育委員会が連携して、アンケート調査の「受けた」、「見た」の申告に対して、事実確認ができた事案を体罰や不適切な行為、セクシュアル・ハラスメント等に分類し、「体罰」や「セクシュアル・ハラスメント」等に該当すると判断された件数のみを公表していました。

なお、匿名の場合や具体的な記載がない場合、調査を望まない場合などは、調査ができないため、公表する件数には含めていま

せんでした。
　従来の方法に対する課題として、千葉市こども・若者基本条例の理念等を踏まえ、子どもたちの声を受け止める重要性に鑑み、実態がより伝わるよう、これまで公表してこなかったアンケート調査の「受けた」、「見た」の申告件数を公表するべきだという意見や、アンケート調査の設問は、「セクハラ」の言葉や多くの漢字が使われており、児童生徒に伝わりにくい聞き方になっているという意見が寄せられ、見直しの必要があると考えたものです。
　これら課題を踏まえ、公表の方法について、これまで公表してこなかったアンケート調査での「受けた」、「見た」の申告件数をそのまま公表するなど、見直しを検討してまいります。また、アンケート調査の設問についても、児童生徒にとって理解しやすい表現に見直すことを含め検討してまいります。
　なお、例年、この時期に調査結果をご報告しているところですが、ただいまご説明しましたとおり、公表方法を見直したうえで、改めて調査結果をご報告させていただきたいと考えております。

鶴岡教育長　審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか。

小西委員　見直しの検討について、ありがとうございます。調査結果を公表する時期の目途は、どれくらいになるのでしょうか。

久保教育職員課長　時期は具体的には決まっていませんが、なるべく早めに公表したいと考えております。

磯邉委員　私もスクールカウンセラーの仕事を行っていますが、千葉市こども・若者基本条例に沿って改善を図っていただきたいです。

久保教育職員課長　千葉市こども・若者基本条例に沿って、より良い質問等を検討していきたいと思います。

大山委員　調査結果の公表については、後になるということは理解をしましたが、申告があった案件の対応についてはどうなっていますでしょうか。

久保教育職員課長　案件については、全て学校と連携をして、解決に向け取組みを行っています。

鶴岡教育長　件数ではなく、解決に向けて対応を行っています。

議案第３７号　令和９年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について

鶴岡教育長　次に、議決事項に係る審議に移ります。
　議案第３７号「令和９年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について」、千葉高等学校長、説明をお願いし

ます。

藤井千葉高等学校長　議案第３７号、「令和９年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択」について、千葉市教育委員会組織規則第８条第１０号の規定により議決を求めるものであります。

本校における令和９年度使用の教科用図書についてご説明します。

参考資料の１ページをご覧ください。まず、「令和９年度使用千葉市立千葉高等学校における教科用図書の選定方針」につきまして、「１　本校の実態と今後の課題」についてご説明します。

本校は教育目標として、「自己の特性を生かせる進路を主体的に選択し、実現する力を育成する」ことを掲げ、（１）自己実現に向けた確かな学力の定着、（２）高度な知識を獲得し、それを活用する力を養う、（３）課題に対して問題意識を持ち、自ら考え解決しようとする姿勢を養うという３つを柱として教育活動を行っております。

特に本年度は、スーパーサイエンスハイスクール指定校として２０年目となる節目を迎えておりますが、引き続き先進的な理数教育を行うことに加えて、海外で研究を行うために必要な基礎英語力やコミュニケーション能力の育成を図っています。

本校の課題として挙げられることについては、理数探究や総合的な探究の時間で実施している課題研究や探究活動を通じて、普通科の生徒を含めた生徒全体の科学的探究心をさらに一層向上させることです。また、ＳＳＨでも目標に掲げている、「国際的に活躍できる人材に必要な自己表現能力の育成」にも課題があり、現在１・２年生の英語「論理・表現」という授業で、週１時間のみＡＬＴが主導する授業を行っていますが、目標を達成する上で十分な機会を生徒に与えているとは言えません。

次に、「２　本校に求められる教科用図書の特色」をご覧ください。生徒の実態を踏まえたレベルの教科書であることを前提として、（１）基礎・基本から発展的な内容まで広く扱い、興味・関心を高める表記があること、（２）ＳＳＨのプログラムの実施に必要な専門的・探究的な内容や、高大連携を視野に入れた内容等が取り扱われていることの２点が挙げられます。

また、理数科では、普通科の教科用図書の特色を踏まえた上で、課題研究や探究活動等の内容が充実していることが特色となっています。なお、理数科においては、専門学科としての教科書はありませんが、物理や化学など、科目によっては、普通科に比べて難易度の高い内容が盛り込まれた教科書を選定しております。さらに、理科では、科学用語の英語表記、参考・発展・探究活動といった大学の内容にも触れる部分があるなど、レベルの高い教科書を選定しております。

また、普通科と同じものを使用している場合でも、補助教材やプリントを活用し、内容を深めるなどして、理数科としての特色を出すよう努めております。以上が、本校に求められる教科用図書の特色です。

続きまして、「３　教科用図書の選定基準」をご覧ください。選定する教科用図書の内容が、本校生徒一人ひとりの実態を踏まえ、本校の教育目標及び教科・科目の目標に適合しているかなどを考慮しています。なお、普通科・理数科それぞれの選定基準については、記載のとおりとなります。

続きまして、２ページ、「令和９年度千葉市立千葉高等学校用教科用図書採択の経緯」をご覧ください。

年度当初の職員会議において、選定委員の委嘱を行い、事務手続きについて確認しました。その後、千葉県教育委員会からの通知に基づき、各教科会議、選定委員会において慎重かつ公平に協議した後、校長が決裁しました。なお、執筆に関わったなど特定の教科書発行者と密接な関係を持つ者が選定に関与していないことを確認しております。

最後に、３ページからの「令和９年度使用高等学校用教科用図書選定理由書」をご覧ください。各教科の具体的な選定教科用図書とその選定理由については、「令和９年度使用高等学校用教科用図書選定理由書」及び「令和９年度千葉市立千葉高等学校使用教科用図書一覧」に記載してあるとおりとなります。その中で、教科書が同じで改訂版となった教科書を除く、昨年度と変更のあった科目についてご説明します。

まずは国語です。３ページの上から５番目の古典探究について、出版社は数研で変更はないのですが、現在は古典探究古文編と漢文編で２冊だったものが、１冊になりますのでそのための変更です。

続きまして、社会です。同ページ一番下の日本史探究の教科書を実教から帝国に変更します。理由はより探究的な学びにつながる構成になっていることです。また、４ページ目の上から４・５番目の倫理と政治・経済について、清水から数研及び実教に変更します。これは清水が来年度用の教科書を作成しなくなってしまったことによります。来年度の教科書の選定理由は、どちらも主体的な考える力の育成や探究学習の内容が充実しているためです。

次に理科です。５ページの下から４・５番目の化学基礎をご覧ください。先程本校に求められる教科用図書の特色で触れたので、一点補足説明的になりますが、同じ化学基礎という科目でも、普通科と理数科は例年異なるものを使用しています。実教出版の「academia」は、発展の内容が詳細であり、課題研究を行う理数科に適していることが理由です。

続きまして、芸術です。６ページの下から４番目をご覧ください。音楽Ⅰにつきましては、出版社はこれまでと同様、教育芸術社なのですが、現在の１年生が「高校生の音楽１」を使用しているのに対し、次年度は「ＭＯＵＳＡ１」を使用する予定です。現在２年生で使用している「ＭＯＵＳＡ２」との接続が良好になることを考えて、また、写真が豊富でオペラなどの解説が分かりやすいことが理由となります。

最後に英語です。７ページをご覧ください。下から２番目の英語コミュニケーションⅢは、現在の３年生は三省堂の「ＣＲＯＷＮ」を使用しておりますが、現２年生は、現在啓林館の「ＥＲＥＭＥＮＴ」を使用しているので、次年度も継続して「ＥＲＥＭＥＮＴ」を使用します。

また、もう一つの科目、論理・表現につきましては、８ページの表の上から２番目をご覧ください。現３年生が桐原書店の「ＦＡＣＴＢＯＯＫ」という教科書を使用しているのに対し、次年度は現２年生が使用している啓林館の「Ｖｉｓｉｏｎ Ｑｕｅｓｔ」を、継続性を鑑みて使用することとしました。

鶴岡教育長　審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか。

鶴岡教育長　昨年、学年によって教科書が違うことについて、継続性があるのかと質問したところ、その学年の特色があってこの教科書がより有効だという答えがありました。ただ、今回逆に良いと思ったのは、継続性を大事にしていて、２年生で使って

いるものを３年生で継続するというのが多かったので、個人的にはこちらの方が効果的なのではないかと思いますが、その点は選定にあたって議論が出たことはありますか。

藤井千葉高等学校長　毎年､慎重に教科書を様々な可能性から選ぶようにしていますが､継続性という意味では､前年度使用している教科書と同じものを使用するというのは､良い面の方が多い一方､同じ内容を使用しているということで､数年に一度は新しい教科書を使用してみたいという流れはあるかと思います。

ただ､今年に関しては継続が多いので､また数年経つと新しい教科書を検討していくことは考えられると思います。

鶴岡教育長　簡単に言えばコロコロ変えた訳ではなく、今回は継続という流れを大事にしていきたいということですかね。

大山委員　教科書採択とは違うことになりますが、文部科学省のＮ-Ｅ.Ｘ.Ｔ.ハイスクール構想に今回選ばれたということで、これから色々改革されていくと思いますが、せっかくなのでどのように考えているのか、教えていただければと思います。

藤井千葉高等学校長　今回のＮ-Ｅ.Ｘ.Ｔ.ハイスクールでは、文部科学省から理数系人材の裾野を広げて欲しいと言われています。

今回､市立千葉高等学校はパイロット校のため､ここでトライした内容・教育課程を他の県立高校に使ってもらい､全県にその内容を広めていくことがモデル校としての役割と考えております｡内容は､理数系人材をどう増やしていくかについてですが､市立千葉高等学校のやり方は､総合的な探究の時間､これは、理数科が理数探究というものを３年間継続的に行うのに対して、実は普通科は２年間しかできていないカリキュラムでした｡それを､希望者は３年間できるように教育課程を変更しました。

そして､その内容も､理数科の内容と近づけて､自分が決めたテーマを３年間探究するという内容に変更しました。今までは、１年時に１テーマ、２年時に１テーマということで、テーマが変わってしまって､継続性がなかったのですが､今回は理数科と同じように行っていく形になります。その探究の内容に対して、理数科で行ってるようなデータサイエンスであるとか、色々な科学的な思考を必ず取り入れて論文を書くと、これは全員論文を書くというところを目標に、カリキュラムを作成中です。

鶴岡教育長　ご質問もないようですので、議案第３７号「令和９年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」という声あり）

鶴岡教育長　ご異議ないようですので、原案どおり可決といたします。

議案第３８号　令和９年度使用千葉市立稲毛国際中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について

鶴岡教育長　議案第３８号「令和９年度使用千葉市立稲毛国際中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について」、稲毛国際中等教育学校長、説明をお願いします。

大野稲毛国際中等教育学校長　議案第３８号、令和９年度使用千葉市立稲毛国際中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について、千葉市教育委員会組織規則第８条第１０号の規定により、議決を求めるものであります。

本校は令和９年度、中等教育学校へ完全に移行します。昨年までは高等学校、中等教育学校後期課程、それぞれで採択しましたが、今年度からは中等教育学校後期課程の４年次生、５年次生、そして６年次生の教科書選定となります。

それでは、お手元の参考資料の１ページをご覧ください。

まず、「令和９年度使用千葉市立稲毛国際中等教育学校（後期課程）における教科用図書の選定方針」です。

「１　本校の実態及び重点目標」ですが、本校は「豊かな国際感覚を身に付けたグローバル・リーダーを育成する」ことを教育目標に掲げ、（１）自分たちの伝統・文化を理解する姿勢を持つこと、アイデンティティーを確立すること、（２）外国の伝統・文化を理解する姿勢を持つこと、受容と共生の姿勢を養うこと、（３）自らの考えや意見を発信し、具体的に行動することができる力を養うことを柱として教育を行っております。

特に、重点目標として、国際理解教育を推進するにあたり、生徒の基礎学力の定着を図り、学習意欲を高めるための取組みを行うこととしております。

始業前の朝学習・朝読書や課題等による家庭での学習の推進、前期課程における数学や英語の授業時間確保、同じく数学や英語での少人数授業・習熟度別授業やネイティヴ講師の活用などを行っております。

さらに授業や海外における語学研修等での学習成果を積極的に発信し、プレゼンテーション等の活用も充実させて取り組んでおります。

続きまして、「２　本校に求められる教科用図書の特色」ですが、（１）各教科とも、データ、図、写真等がバランスよく配列されており、言語活動へのアプローチも充実した内容となっていること、（２）英語では、様々な分野の話題がバランスよく取り上げられ、語彙や文法も充実していること、ネイティヴ講師とのティームティーチングにおいて、発信活動がしやすい内容であること、速読、精読等、目的に合わせた学習に適していること、英語力４技能の伸長を測定することに適した構成となっていることがあげられます。

次に、「３　教科用図書の選定基準」についてですが、本校生徒一人ひとりの実態を踏まえることや、本校の教育目標に照らし合わせ適切であるかなどを基準としております。中等教育学校へ移行するにあたり、進路希望等生徒の変化等、実態を確実に把握しながら、日々の教育活動に取り組んでいます。

２ページをご覧ください。続いて、教科用図書選定の経緯についてです。本年度も４月当初、２日に教科書選定委員会委員を委嘱し、同日第１回会議を開催しました。

委員は、副校長・教頭他、関係分掌長、各教科主任の全２３名で構成され、教科会議を経て、選定委員会での選定となります。

委嘱時も含め、適宜副校長等から選定には公正を確保し、文部科学省・県教委の通知・指導にのっとり、外部からの影響のない静謐な環境での選定を指導しています。その後３回にわたる会議を受けて、無事、選定作業を終了し、校長の決裁後、市教育委員会へ報告しています。

なお、特定の教科書発行者と密接な関係を持つ者が選定に関与することも禁じています。

３ページをご覧ください。続いて、選定理由書になります。令和９年度使用する教科書は、６年次生については、新たな教育課程で学習することになり、昨年度やこれまでの稲毛高等学校の普通科・国際教養科の選定を踏まえつつ、新たに選定しています。

５年次生、４年次生は、基本昨年度と同じ教科書を選定して

います。ただ、昨年度から一般の高校１年用教科書が改訂される年となり、４年次生、５年次生の教科書は改訂版を選定しているものもあります。

昨年度と変更のあるものとしては、まず、国語科の論理国語です。第一学習社の図書名「高等学校　改訂版　論理国語」を選定しました。最新のテーマを取り扱い生徒の興味・関心を呼び起こし、また論評に用いられる語彙がキーワードとして提示されており生徒の学習を助けるものになっています。

続いて、古典探究です。数研出版の図書名「改訂版　高等学校　古典探究」を選定しました。古文、漢文とも作品がジャンル・時代ともバランスよく取り入れられており、より深く古文を読み味わうため随筆・評論・コラムなどが単元の後に置かれています。

他の教科・科目についても、教科用図書の選定方針に基づき、教科会議での選定を経て、教科書選定委員会で協議・確認し、選定しています。

鶴岡教育長　審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか。

小西委員　ご説明ありがとうございます。確認ですが、発行者を変更したのではなく、改訂版が出た教科書を改訂版に変更したということでよろしいでしょうか。

大野稲毛国際中等教育学校長　改訂版の方が新しいデータ・情報が入っているため、できるだけそちらを使用して、授業を展開したいということで、改訂版を選定しているものもあります。

磯邉委員　ご説明ありがとうございます。１点書き方の説明を教えていただきたいのですが、４年普通科で継続使用の記載があるものと、４年普通科のみの記載の２種類があるのですが、この違いについて教えていただけますでしょうか。

大野稲毛国際中等教育学校長　継続使用は、昨年から使用しているものを引き続き使用することで、先取りをしていますので、実際の教科書としては、前期課程の３年生で使用しているものを引き続き使用するということになります。

磯邉委員　継続使用と記載があるものは、３年時から使用しているものを引き続き使用しているということでしょうか。

大野稲毛国際中等教育学校長　前期課程から引き続きということになります。継続使用の記載が無いものは４年時から新しく使用するものになります。

磯邉委員　継続使用の教科書は新しく購入をしないでよいということ

でしょうか。

大野稲毛国際中等教育学校長　そういうことになります。

鶴岡教育長　ご質問もないようですので、議案第３８号「令和９年度使用千葉市立稲毛国際中等教育学校（後期課程）用教科用図書の採択について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」という声あり）

鶴岡教育長　ご異議ないようですので、原案どおり可決といたします。

議案第３９号　令和９年度使用学校教育法附則第９条第１項の規定による教科用図書の採択について

鶴岡教育長　議案第３９号「令和９年度使用学校教育法附則第９条第１項の規定による教科用図書の採択について」ですが、まず、教科用図書選定委員会の調査結果報告について、選定委員会委員長である教育次長からその概略の報告をお願いします。その後に、調査結果についての説明を教育指導課長からお願いします。

中島教育次長　本議案は、千葉市教育委員会組織規則第８条第１０号の規定により議決を求めるものであります。

学校教育法附則第９条第１項の規定による教科用図書については、本年５月２２日の教育委員会会議第５回定例会において、「令和９年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択方針」が決定されたことを受け、その後、同日に第１回千葉市教科用図書選定委員会を開催して、教科用図書専門調査員会を設置するとともに、専門調査員を４名任命し、教科用図書選定に係る調査研究等を行ったところであります。

また、その調査研究の報告を基に７月８日に第２回千葉市教科用図書選定委員会を開催し、令和９年度使用教科用図書調査研究報告書をとりまとめました。

報告書の内容については、教育指導課長よりご説明します。

川島教育指導課長　本市においては、教科書採択の公平性・透明性を担保するため、千葉市教科用図書選定委員会を設置しております。この選定委員会は、校長会代表や意見聴取者、教育委員会事務局などで構成されております。

その選定委員会のもとに、千葉市教科用図書専門調査員会を設け、千葉県教育委員会が選定した附則９条図書、１４４冊について、本市児童生徒の教育活動に適正であるかを確認い

ただきました。なお、選定委員及び専門調査員には、選定疑念を抱かれないよう、教科用図書に関する直接の利害関係を有する者でないことなどの誓約書もとっております。

特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の教科用図書については、文部科学省検定済教科用図書及び文部科学省著作教科用図書の当該学年用を使用することが原則となっていますが、児童生徒の実態により適切でない場合は学校教育法附則第９条第１項の規定により一般図書を選定することができます。

まず、拡大教科用図書については、小学校通常学級で２名、特別支援学級２名、中学校通常学級で３名、合計７名が使用しております。特別支援学校及び特別支援学級で学ぶ児童生徒は、発達段階が様々であり、障がいの特性も多様であることから、できるだけ児童生徒の実態に対応できるようにするため、文部科学省検定済教科用図書、文部科学省著作の特別支援学校用教科用図書と併せて、学校教育法附則第９条第１項の規定による一般図書を採択していただきたいと考えます。

学校教育法附則第９条第１項の規定による一般図書の観点については、参考資料の９ページをご覧下さい。

続いて１０～１３ページをご覧ください。千葉県教育委員会から示された一般図書の一覧です。備考欄の※印が付いている図書が、今年度新たに千葉県から示された図書です。千葉市の欄の〇印は、昨年度に引き続きのもの、◎印は、今年度新たに採択を希望する図書です。

では、学校教育法附則第９条第１項の規定による教科用図書、合計１４４冊について、報告します。

はじめに、１４ページの国語です。千葉県教育委員会から５１冊示されましたが、そのうち３３冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は３３冊となっています。内容が適切で、指導の継続性が高く、児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選んだ図書は、今年度、千葉県教育委員会で選定された図書がなかったためにありません。

１０ページの４「五味太郎・言葉図鑑（３）かざることば（Ａ）」については、選定しませんでした。理由としては、「どんなおかあさん」及び「どんな おとうさん」のページにおいて児童生徒にとってマイナスイメージを抱かせる表現が見受けら

れました。昨今の欠損家庭が増加している状況等を鑑みると、社会情勢にそぐわない内容の記載がみられ、児童生徒が学習するにあたり混乱を引き起こす可能性があると判断したからです。国語については以上です。

続いて、２５ページの算数・数学です。千葉県教育委員会から２６冊が示されましたが、そのうち２０冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は１９冊となっています。内容が適切で、指導の継続性が高く、児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選んだ図書は、今回、千葉県教育委員会で新たに選定された図書１冊です。

１１ページをご覧ください。１３「スーパータイルのさんすう　らくらく算数ブック１」は、タイルを扱い具体物を操作しながら数の概念を学ぶことができる内容となっています。また、生活場面を用いた問題提起がされており、児童生徒自らが問題を把握しやすく、課題解決に向け学習が進めやすい工夫が施されています。また、直筆で書き込める記入欄の大きさも適当であり、児童生徒が興味・関心を高め、学習に臨める図書となっているため選定いたしました。

なお、千葉県教育委員会で新たに選定した点字版教科用図書２６「いろんなかたちをさわってみよう」については、点字版教科用図書を扱う本市小中学校に在籍する児童生徒はおりませんので選定しておりません。算数・数学については、以上です。

続いて、３２ページ、生活・社会についてです。千葉県教育委員会から２６冊が示されましたが、そのうち２３冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は２２冊です。内容が適切で、指導の継続性が高く、児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選んだ図書は、今回、千葉県教育委員会で新たに選定された図書１冊です。

１２ページをご覧ください。2「記号とマーク・クイズ図鑑」は、４つの分野で構成され、普段から目にするマークや記号がたくさん掲載されています。クイズ形式を取り入れ、生活に役立つマークや記号について楽しみながら学習できる内容となっています。分野別に色分けされ、文字が大きく、漢字には振り仮名が振られており教科や総合的な学習を始めとした様々な学習で活用できる教科用図書であると判断し選定いたしま

した。生活・社会については以上です。
　続いて、４０ページ、職業･家庭についてです。千葉県教育委員会から１８冊示されました。そのうち１２冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は１１冊となっています。内容が適切で、指導の継続性が高く、児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選んだ図書は、今回、千葉県教育委員会で新たに選定された図書１冊です。
　１３ページをご覧ください。１５「ひとりだちするための進路学習」は、社会人となるために児童生徒が今やるべきことや将来の進路決定に向けた内容がイラストを交え分かりやすく明示されています。また、身だしなみやマナーなど身につけるべき内容も学べるような内容となっており、自分自身のこと、働くために必要なことなどが簡潔に記載されておりキャリア教育、進路指導に十分活用できることから選定しました。
　なお、１３ページの１１「２１世紀幼稚園百科１１　からだのふしぎ」については選定しませんでした。理由としては、からだの名前を知る見開きのページおいて、男児の裸体写真が掲載されております。また、性器も写っています。性被害・性暴力の根絶に向けた取組みを継続的に行っている本市教育施策を鑑みると、教科用図書としての取扱いとして適切ではないと判断し選定しませんでした。職業・家庭については以上です。
　続いて、４４ページの図工・美術です。千葉県教育委員会から８冊示されましたが、そのうち４冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は４冊となっています。内容が適切で、指導の継続性が高く、児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選んだ図書は、今年度、千葉県教育委員会で選定された図書がなかったためにありません。
　１３ページの３「たのしい図画工作９　うごくおもちゃ」、５「リサイクル工作ずかん」の２冊については選定しませんでした。３「たのしい図画工作９　うごくおもちゃ」を選定しなかった理由は、空き缶を利用し制作する写真が掲載されているページにおいて、開け口部分の面取りが十分でない箇所が見られたためです。児童生徒が事故や怪我無く安心して学習に取り組めるという点において、十分な安全面が確保できないと判断し、選定しませんでした。また、５「リサイクル工作

ずかん」を選定しなかった理由としては、瓶の王冠を材料とした制作ページがありました。近年入手しにくい材料の記載がある点を鑑みると教科用図書として扱いづらいと判断しました。図工・美術については以上です。

続いて、４６ページ、外国語についてです。千葉県教育委員会から７冊示されました。そのうち６冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は６冊となっています。内容が適切で、指導の継続性が高く、児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選んだ図書は、今年度、千葉県教育委員会で選定された図書がなかったためにありません。外国語については以上です。

続いて、４８ページの保健体育です。千葉県教育委員会から８冊が示されましたが、そのうち６冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は６冊となっています。内容が適切で、指導の継続性が高く、児童生徒に親しまれている図書が多いためです。新規に選んだ図書は、今年度、千葉県教育委員会で選定された図書がなかったためにありません。保健体育については以上です。

以上で、特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書について、すべての報告を終わります。

鶴岡教育長　審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか。

磯邉委員　ご説明ありがとうございます。私も教科書を手に取って拝見させていただいているのですが、細かいところまでチェックしていただいてるなと思い、感謝します。

１点小さな確認なのですが、１２ページの生活・社会の１３「５訂版歌はともだち」の価格が３６２円となっているのですが、３６ページの当該箇所を見ると、１７６ページの書籍で「紙質が良く、丈夫である」と記載があるのですが、こちらは間違いないでしょうか。

中村教育支援課指導主事　記載のとおりの値段で間違いありません。書籍については、小さいサイズの書籍になっております。紙質が良いというのは、特段厚紙を使用しているのではなく、そのサイズの歌本として上質紙を使用した図書になっているということで間違いありません。

大濱委員　保健・体育について、性暴力や性被害、性教育は保育園や幼稚園でも行っているぐらいですが、特別支援教育に関しては

そういった性教育は取り扱わないのでしょうか。

中村教育支援課指導主事　保健・体育の検定済みの教科書を採択していくことが前提になりますが、取扱いとしては性教育も行って参ります。その中で、児童生徒の特性に応じて適切でない場合は、一般図書を使用していくということで、この一般図書の一覧の中だと、保健・体育の５「改訂新版くらしに役立つ保健体育」の中に、性暴力や性教育に関する記載がありますので、発達段階においては、活用できる内容となっています。

大濱委員　大事なことだと思いますので、特別支援だからこそ、そういった性被害や性暴力等も取り扱っていただければと思います。

鶴岡教育長　ご質問もないようですので、議案第３９号「令和９年度使用学校教育法附則第９条第１項の規定による教科用図書の採択について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」という声あり）

鶴岡教育長　ご異議ないようですので、原案どおり可決といたします。

以上で公開審議案件の審議は終了いたしました。最後に、事務局から何かありますでしょうか。

川島教育指導課長　本日の採択結果については、本日中に千葉市教育委員会教育指導課ホームページで、公開する予定であることをお伝えします。

８　その他

第８回定例会は、８月１９日 水曜日 午後２時３０分からとした。

９　閉会

鶴岡教育長より閉会を宣言